

○ 合併後の市町の変化

区 分	状 況	備 考
市 町 村 数	8 6 市町村 (1 3 市 6 7 町 6 村) → 2 3 市町 (1 4 市 9 町) 【うち 6 市町 (2 市 4 町) が非合併団体】	<input type="checkbox"/> 全国 2 番目の合併推進県 ・市町村の減少率 7 3. 3%
人 口 (平 均)	(H12) 2 0, 0 3 9 人 → (H22) 9 4, 5 4 5 人 (4. 7 倍) ※ 広島市及び非合併市町を除く。	<input type="checkbox"/> 人口 5, 0 0 0 人未満の町村 (3 9 → 0)
面 積 (平 均)	(H14) 9 4 km <sup>2</sup> → (H24) 4 5 6 km <sup>2</sup> (4. 9 倍) ※ 広島市及び非合併市町を除く。	<input type="checkbox"/> 交付税上の標準団体 (10 万人・ 160km <sup>2</sup> ) と比べて人口は均衡する 一方、面積は著しく拡大 (2. 9 倍)
職 員 規 模 (平 均)	(H14) 2 6 0 人 → (H24) 1, 0 1 7 人 (3. 9 倍) ※ 広島市及び非合併市町を除く。	<input type="checkbox"/> 組織・財政規模の充実
財 政 規 模 (平 均)	(H14) 8 8 億円 → (H24) 4 1 5 億円 (4. 7 倍) ※ 広島市及び非合併市町を除く。	
組 織 の 専 門 化	子育て, 危機管理, 情報などの専門部署の 設置	<input type="checkbox"/> 行政サービスの向上
権 限 移 譲 の 推 進	移譲率 7 6. 9 % (H26. 4. 1) うち合併市町の移譲率 8 3. 3%	【参考】 非合併市町の移譲率 5 9. 4%

○ 世論調査 (中国新聞 H25. 10. 18 掲載, 対象: 有権者, 回答者数: 1, 000 人)

割 合	理 由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併して良かった <b>3 8. 4 %</b></li> <li>・ 合併して良くなかった <b>1 3. 9 %</b></li> <li>・ 合併していない <b>3 1. 3 %</b></li> <li>・ わからない <b>1 6. 4 %</b></li> </ul>	<p>○ 良かったとする理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 福祉など行政サービスの充実 2 1. 2 %</li> <li>② 役場役所が強化された 1 9. 0 %</li> <li>③ 行財政改革が進んだ 1 5. 6 %</li> <li>④ 住民主体のまちづくりが進んだ 1 3. 8 %</li> </ul>
<p>※ 「合併していない」を分母から除して換算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併して良かった 5 5. 9 %</li> <li>・ 合併して良くなかった 2 0. 2 %</li> <li>・ わからない 2 3. 9 %</li> </ul>	<p>○ 良くなかったとする理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 行政サービスが充実しなかった 3 2. 4 %</li> <li>② 地域がさびれた 2 1. 6 %</li> <li>③ 行財政改革が進まなかった 1 4. 4 %</li> <li>④ 市役所・町役場が遠くなって不便になった 1 1. 5 %</li> </ul>

2 行財政基盤の充実強化

区 分	合 併 市 町 (除: 広島市)		非 合 併 市 町	
	推 移	増 減	推 移	増 減
組 織	職 員 数	(H14) (H25) 21, 492 人 → 17, 273 人 ▲ 19. 6%	(H14) (H25) 1, 630 人 → 1, 358 人 ▲ 16. 7%	
	議 員 数	(H14) (H25) 1, 152 人 → 372 人 ▲ 67. 7%	(H14) (H25) 112 人 → 92 人 ▲ 17. 9%	
財 政 基 盤	人件費(職員給)	(H14) (H24) 1, 078 億円 → 799 億円 ▲ 25. 9%	(H14) (H24) 89 億円 → 67 億円 ▲ 24. 7%	
	地方債残高	(H14) (H24) 8, 524 億円 → 5, 764 億円 ▲ 32. 4%	(H14) (H24) 590 億円 → 441 億円 ▲ 25. 3%	
	財政調整基金残高	(H14) (H24) 435 億円 → 709 億円 + 63. 1%	(H14) (H24) 64 億円 → 100 億円 + 58. 1%	

### 3 広域的なまちづくり

#### ○ 合併建設計画の実施状況 (H25 見込)

区 分	全体事業費 (計画策定時)	実 績【事業費ベース】	実 績【件数ベース】
市町事業	12,170億円	8,104億円 (66.6%)	
県事業	7,159億円	4,290億円 (59.9%)	81.2% (着手率) (676件/833件中)

#### ○ 合併特例債の発行可能額と発行実績 (H25 見込)

起債区分	発行可能額	発行 (予定) 額 (活用率)	備 考
建設事業分	4,135億円	2,106億円 (50.9%)	過疎地域においては、より有利な過疎債を活用している。 【参考】合併後の過疎債活用実績 (H14~H25) 914億円※ (合併特例債+過疎債 3,020億円) ※ 合併後の過疎債発行額(許可額又は発行予定額)
基金造成分	440億円	229億円 (52.0%)	・活用団体 11団体 ・未活用団体 5団体

※ 広島市を除く。

※ H24 及び H25 年度の合併特例債は発行予定額

※ 財政措置

- ・ 合併特例債 (充当率 95%, 交付税措置 70%)
- ・ 過 疎 債 (充当率 100%, 交付税措置 70%)

### 4 今後予想される課題への対応

#### ○ 普通交付税の合併算定替終了

合併算定替終了による 影響額 (H25 年度)	県として対応 【H26 年度, H27 年度 国予算提案】	国における対応状況
1,892億円→1,497億円 (増 減 ▲395億円) (減少率 ▲20.9%)  ※ 広島市を除く。	○ 合併後の市町の姿を反映した算定方法 ～交付税標準団体と比べ、面積3倍乖離 ⇒行政区域拡大に伴う行政コスト増 ・ 標準団体の基準面積の設定見直し ・ 合併市町の支所経費の拡充 ・ 消防署経費の拡充 など ○ 合併後の市町の実情に応じた財政需要 の確保 ・ 周辺地域の振興など	① 支所経費の拡充 (H26 から反映) ・ 合併前の旧役場本庁に相当する支所につ いて経費を加算 ・ 総額では3年間かけて全国ベースで 3,463億円, 県内市町で140億円の増加 ② 人口密度等による需要を割増し, 標準 団体の面積を見直し, 単位費用に反映 (H27 から反映予定) ・ 消防, 福祉保健サービス等について, 旧 市町村単位の消防署・出張所に要する経 費を加算するほか, 人口密度による補正 の新設・充実や標準団体の経費を見直し ・ 総額では今後4年間かけて全国ベースで 3,200億円程度の増加予定 これらの見直しにより, 合併算定替え減少 額の6割程度が回復する見込み

#### ○ 合併特例債の発行期間延長

法改正により, 合併年度及びそれに続く15年度 (法改正前10年度) まで, 合併特例債の発行が可能となったことから, 合併後のまちづくりが円滑に進むように, 合併市町の建設計画見直し (期間延長や事業追加) について, 県として助言を行う。

※ 現在の市町村建設計画は見直し状況は, 「1 合併後の市町の姿」の表のとおり。

(参考) 合併しなかった場合の試算

○ 財政構造

(単位: 団体)

区 分	合併前の旧市町村ベース (80団体)			合併後市町 (17団体)	備 考	
	H13決算	H24試算	増減 (H13→24)	H24決算		
財政力指数 0.2未満	28	34	+6	0	(財政力指数とは) 基準財政収入額(地方税等の自主財源) を基準財政需要額(一般的な行政経費等) で除して得た数値。財政力指数が高い ほど、財源に余裕があるといえる。	
経常収支比率	90%以上	18	22	+4	10	(経常収支比率とは) 経常的経費に対する経常一般財源収 入の比率。比率が高いほど財政構造の 硬直化が進んでいる。
	うち95%以上	6	14	+8	3	
	うち100%以上	1	4	+3	0	

○ 人口構造 (国勢調査)

(単位: 団体)

区 分	合併前の旧市町村ベース (80団体)			合併後市町 (17団体)	備 考	
	H12国調	H22国調	増減	H22国調		
人 口	5,000人未満	39	41	+2	0	組織, 財政規模の小 さな町村では, コミュ ニティの維持やまち づくりは深刻な課題 となっていたものと 推測される。
	うち2,000人未満	4	11	+7	0	
高齢化率	40%以上	11(11)	33(31)	+22(+20)	3	
	うち50%以上	0(0)	4(4)	+4(+4)	0	

※ ( ) 内の数字は, H12及びH22国調人口が5,000人未満の団体の内数である。